

労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

2019年6月19日発行

No. 559号 (第51期 4号)

〒454-0055

名古屋市市中川区十番町 2-8

栄和産業(株)ビル 2F

TEL/FAX 052-654-1411

<http://aichirousan.web.fc2.com/>

第47回鈴鹿山系清掃登山開催



2019年6月2日(日)、前日までの晴天からいつ雨が降ってもおかしくない様な空模様の下で御在所岳、藤原岳の両山域で第47回鈴鹿山系清掃登山を実施しました。御在所岳に関しては、前日の6月1日夕方近くに御在所ロープウェイからロープウェイが緊急点検で7日まで運休する旨の連絡があり、当日の予定していた事を大幅に変更する羽目になりました。当日は、実行委員の努力で難なく開催することが出来ました。

参加人数は会員385名、一般82名の合計467名でした。リーフレットを渡し清掃登山の趣旨を説明し賛同していただいた一般賛同者が120名でした。(次項につづく)

《目次》	第47回鈴鹿山系清掃登山開催	1
	各会の春山合宿報告 半田ファミリー山の会、名古屋山岳同志会	2
	新任役員からのご挨拶	5
遭対部	5/17 春山合宿遭対報告会議を開きました	6
組織部	5/16(木) 第四回 組織担当者会議一報告	8
〃	愛知平和行進 (中間報告)	9
〃	労山と平和行進	10
女性部	女性部便り	10
理事会	理事の補充について	11
	一般向け登山講座 公開講座等 報告	11
	カレンダー	12

(前項からのつづき) ゴミの回収ですが、可燃ゴミ 28.5Kg、不燃ゴミ 54.9Kg の合計 83.4Kg でした。ゴミに関しては、登山道に落ちているゴミはほとんどなく登山道入口周辺や駐車場に落ちている物がほとんどでした。また、駐車場に不法投棄したと思われるアルコール飲料のアルミ缶も回収しました。これらについては、自治体に連絡をして今後の対応を検討してもらうように申入れをします。

藤原岳におきまし、清掃登山とハルザキヤマガラシ駆除作業も同時に開催しました。回収した量はゴミ袋 85 袋でした。

まずは、事故等なく終了することができ良かったと思います。皆様お疲れ様でした。

各会の春山合宿報告

半田ファミリー山の会 花組 「山に学ぶ」

榊原伯明

例年の如く 3/10 の定期総会後春合宿の実施告知、目的確認、日程検討、花組、雪組と山城を分け取り組む。3/18(月)の花組第 1 回打ち合わせで山城候補、任務分担、TR 山行予定担当、3/25(月)、4/1(月)、4/8(月) 4/20(土)、登山講座実技後、4/24(水)定例会後と計 6 回。TR 山行は 3/31(日)の烏帽子岳、4/7(土)の定例山行を含み各自 4～5 回目標に実施。

[涉外・情報]

4 月 23 日(火)椎間板ヘルニアの下肢不具合で 1 名不参加連絡。4/20 頃より体調不良情報あるも装備分担、食坦計画急遽変更。参加メンバーの協力あり修正し進行
4 月 24 日(水)4 月定例会議後、エスケープルート変更計画書概念図提出。涉外担当から地元の山岳情報提供施設より東尾根ルート危険度高く、霧降山からの下山を勧められる。この直近情報を重視し、まず 2 日目の当初予定ルート上の池小屋山を目指し、その先を判断しエスケープルートとして活かしておく事とする。



台高山脈 野江又の頭にて

[山の天気]

4 月 27 日(土) 7:00 高見峠着。曇天からポツリと雨。高見山をピストン。雨合羽の隙間から強風、雨、霰が冷たく頬に突き刺さり痛い。10:00 南タワの窪み桧林の下に避けるように休憩。27 日 9 時の天気図は寒冷前線が低気圧を伴い紀伊半島沖、能登半島沖、大陸からの高気圧から前線に冷風。こんな氷点下の雨、風、霰を歩くななんて想定外のスタート。

4 月 28 日(日)4:00 起床 5:30st はヘッドライト不要の明るさで早朝の空気は冷たいが雨の心配なく晴れる。

4 月 29 日(祝・月)午後から崩れる予報もあり前日と同じスタートで進行。9:35 江馬小屋谷出合着。

[地図と磁石]

4月27日 12:30 赤ズレ山から10分「磁針が東に向いたまま進み過ぎている? 「気づいたら即元の場所に戻りましょう!」「テープもあるし、巻いて行くと思って…」ピークでの休憩場所に戻り再スタート。地図方向確認をして本来の尾根道へ。往復20分のロスタイムで修正。

4月28日(日)11:20 池小屋山山頂着。ここで東尾根に向う。地元情報でのエスケープルート霧降山へ戻るか判断ポイントとしておりSLとメンバーに当初計画とより進行の同意を得、東尾根を進行。1332Pまで峨しい痩せ尾根に、根を天に白老化した巨木が累々と重なる中を東進。野江股ノ頭方向は水越へ北上すべき尾根を見過ごし1245Pまで東進。戻り修正。東尾根進行中、手前の尾根からは左に見えていたが近づくにつれ分岐近辺では林に隠れ確認できず通過していた。

さらに水越のテント適地まで尾根を下る際も等高線を読みながらテープを辿り到着。

根を天に 峨々たる尾根の 白古木

[樹氷]

4月27日(土)13:40 シーズンには高見山の樹氷は有名らしいが、冷たく強い西風と霰を右頬に受けながら顔を上げると国見山と山裾が山桜の様に薄白い樹氷で綺麗に装っている。

春令和 樹氷装う 国見山

[幕営]

4月27日 15:00 水場確認、翌日の共同水確保に空容器に入れ運ぶ。4月28日(日)前日は気温も低く2つのテント内で夕食(うなぎ)であったが、この日はA、B両パーティー一緒に焚火にカレーで夕食。合宿の醍醐味を味わう。

[反省会]

- ・合宿候補地の確定まで時間がかかり過ぎた。
- ・4/27 高見山ピストン山行で大半の人が何も携行して行かなかった。
- ・道迷いがあったが、地図、磁石の勉強になった。

名古屋山岳同志会 奥穂高岳(3190m)春合宿

4/27(土)曇りのち雪、強風 7:00 上高地~8:00 明神~10:15 横尾~11:40 本谷橋~14:00 涸沢

4/28(日)快晴 6:30 涸沢~9:30 穂高岳山荘~11:00 奥穂高岳~12:00 穂高岳山荘~14:00 涸沢

4/29(月)晴れのち曇り 7:00 涸沢~9:40 横尾~13:00 上高地



メンバーは10人。26日の夜、雨がザンザン降る平湯に入る。27日朝、タクシーで上高地に向かう。雨は上がっていた。6時前に5人が先発。松本から来たメンバーと合流した後発5人が7時出発。雪は全然ない。横尾大橋を渡ると、樹林帯となり、やっと雪景色が現れた。雪に埋もれた本谷橋から沢通しに雪渓

を登っていく。初めての雪の涸沢にワクワクする。少しずつ傾斜が増し、登山者が蟻の行列のように連なっているのが見えた。

先発隊は早く出発したから、もうテントは張ってあるよね!と話しながら、色とりどりのテン

トの花咲く涸沢に着いた。先発隊は、整地し雪のブロックを積んでいる最中だった。涸沢はうって変わって強風吹雪だった。みんなで手分けして6テンと4テンを張り、潜り込む。6テンに行くと、メンバーの一人がシュラフにくるまり横になっていた。気が付かなかったが、テントを張っている最中に汗をかいた体が一気に冷え、低体温症になっていた。メンバーに看護師がいたおかげで、手際よく介抱し、温かいものや糖分のあるものを摂らせて回復した。起き上がって話ができるときは、本当に安心した。

テントが強風でバタバタ音を立てる中、お鍋を全員でいただく。お酒も飲み、明日の奥穂に向けて期待がふくらむ。トイレへ行って戻ると4テンの竹ペグが外れ、フライが今にも飛んでいきそうだった。急いで、ピッケルで固定し一件落着。さあ明日に備えて眠ろう。

[28日] 風は雪を交え一晩中吹き荒れたが、翌朝は見事な快晴。真っ青な空の下、岩と雪の穂高連峰がうっすらオレンジ色に染まっていた。昨晚の降雪で新雪が20センチほど積もり、暖かくなる当日は表層雪崩の危険が高い。ビーコンもチェックする。予定より30分遅れて、白銀の世界へ歩みだす。延々と続く雪の斜面は滑ったら嫌だなといつも思う。慎重に行こう。

こつこつと高度を稼いで行くが、メンバーの一人が調子悪そう。高度障害が出てしまい、ここで引き返すことになった。下山してくるパーティーがあったこともあり、傾斜は緩いが一人で下山しないように指示があり私たちは先に進んだ。下山のため下りてくるパーティーを待っているその目前で雪崩が発生、30人くらいの方が巻き込まれた。常駐の救助隊もすぐに参加し、幸い全員が無事だったと聞いた。

私たちはそんなこととは露知らず、奥穂目指して意気揚々とザイテングラードの右を登り、穂高岳山荘に着いた。上を見上げれば、奥穂を臨むことができ、みんなの目が輝いていた。

鉄梯子を2つ越え、右の岩を登ると、核心の急な雪壁が現れる。ピッケルとアイゼンを突き刺して慎重に登る。上を見ても怖いし下を見ても怖い。とにかく登るしかない。やっと一つクリア。その時、空では不思議な現象が起きていた。太陽の周りを大きく光の輪が囲み、さらに虹色の帯が現れていた。大気中の水分の結晶が太陽光に屈折して現れる幻日環と、太陽の下46度の水平線上の薄雲に虹色の光の帯がみえる環水平アークが同時に起き、とても幻想的な景色だ。

頂上直下に、もう1カ所、急な雪壁を登る場所がある。そこをクリアすると祠が見えてきた。奥穂高岳の頂上だ。今までで一番お天気がよい日に登頂でき、360度の展望が望めた。ジャンダルム、右側に御嶽山、笠ヶ岳、さらに涸沢岳、北穂高岳、槍ヶ岳、遠くに富士山と、書ききれないほどの山々が目の前にある。空には幻日環と環水平アークが、まだ続いていた。

眺めを楽しみ、満面の笑みで写真を撮り下山開始。雪壁の下りは登りよりもさらに緊張する。慎重にピッケルとアイゼンを突き刺して下った。

涸沢岳にも登る予定だったが、この時点で12時を過ぎており、雪崩の危険も考えて下山することにした。春の雪は時間とともにグサグサになりやすく、足を取られて歩きにくい。14時、テントの花咲く涸沢に着いた。先に下山していたメンバーから雪崩の生々しい話を聞きびっくりする。振り返って見るといくつか雪崩の跡があった。

緊張から解放され、小屋のデッキで祝杯をあげた。テントに戻り、おいしい夕食とビールで、また乾杯。みんないい顔をしていた。

[29日] 最終日も天気がいい。計画では北穂高を登る予定だったが、雪崩のリスクやメンバーの体調を考慮して、私たちは下山することにした。

訓練、合宿と、私にはハードルの高い山行が続いたが、パーティーのみんなに支えてもらい、無事、合宿を終えることができた。エントリーから本番まで一人も欠けることなく参加ができてよかった。雪山に必要な技術や体調管理、気象の変化への対応など、いろいろなことを学ぶことができた。雪崩が身近に起こる怖さもひしひしと感じた。一緒に歩いてくれたみなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。 (富田)

新任役員からのご挨拶

新任の挨拶

事務局長兼組織部長 吉川幸一 (名古屋山岳同志会)

第51期事務局長を務めることとなりましたので、今年度も宜しくお願ひします。

2018年1月14日全国連盟浦添理事長を招いて「労山運動の理念と発展」と題して講演会を開催しました。その際参加者から「労山運動の理念を簡単に説明するとしたらどのように説明したら良いか。」という趣旨の質問がありこれに対して個人的考えとしながら「登山の楽しさを広げ、山岳会に入ってもらい山岳会で教育する中で登山の楽しさと厳しさを知ってもらい、登山そのものを多くの人に広げていく、ということでしょうか。」との説明がありました。この労山運動の理念を簡潔に説明する、ということは大切なことで県連に関わる中でそれ以来の課題・テーマとなってきました。

愛知県連規約が2018年に改定——女性部の名称変更——されて以来、再発行されていませんが、wordに入力し再発行の準備をしています。改めて規約を見直しますと次のようにあります。

第3条本連盟の目的は次の通りである。加盟団体の自主的・民主的活動をとおして、安全で楽しい登山の知識・技術を広げ、国民スポーツ・文化としての登山を創造・発展させるとともに、平和で豊かな社会を追求する。

「自主的・民主的活動」というのは一つの会が自主的に物ごとを進める、というだけでなく、各会の創立時の思いや現在の方針・立場などを各会がお互いに尊重し、相互理解を深めることを前提として、当面の課題などについて合意形成できるように県連の活動を進めるということです。もちろん上意下達の組織でもなく、何処かの会の方針が良いからと云ってこれを押し付けるものでもありません。

「登山の知識・技術を広げ、——」というのは浦添理事長の「登山の楽しさを広げ、——登山そのものを多くの人に広げていく、」と同じ考え方で、県連としてこのこと自体を目的に掲げていることは特筆すべきことです。登山について「創造・発展させるとともに、」とは創始者の先見性を示しています。フリークライミングとかボルダリングとかのない時代に岩登りの発展を見越していたかどうかは別として、山岳自然の中で広がる登山の可能性として自主的或いは主体的な活動、民主的な保障があつてこそ、創造・発展が望めることを見越していたと言ふべきでしょう。

「平和で豊かな社会」は平和であつてこそその登山を言い現していますし、豊かな社会とは、登山に依つて心身を成長させより豊かな生活を送り長生きできるようにする、登山文化とは生活を豊かにする考え方と捉えているのでしょう。

以上にもみるように、連盟規約の目的部分に盛られているのは言葉を選んで労山運動の理念を端的・簡潔に述べているものとして、愛知県連の先人、創始者たちの先見性を示すものであると共に、現在の県連盟の活動について自己点検する場合の指針とすべき内容と思ひます。

「みんなで考えみんなで活動」

教育部長 榊原 昭夫 (名古屋ありんこ山岳会)

50期に引き続き51期も教育部長に就任しました。各会が県連に結集して県連の取組みを成功させ、その取組んだ内容が各会へフィードバックされ、各会の発展・活性化の一助となるように活動していけたらと思ひます。そのためには、「みんなで考えみんなで活動」を基本に以下のことを大切にして活動したいと思ひます。

①考えや思いは十人十色であるので、そこを無理に合わせようとせず、「労山運動の理念」と照

らし合わせてどうなのか、みんなで決めた「総会資料」に沿った活動になっているかで判断していく。

②ハイキング主体の山岳会、岩や雪もやってる山岳会と多彩だが、どの山岳会が優れているという感覚でなく、教え合う・学び合うことを大切にしていく。

昨年より今年と、一步一步、教育部の取組みが発展していくよう、努めていきたいと思えます。どうぞ、よろしくをお願いします。

「今より少し先の未来をみつめて」

女性部長 河村 恵子（春日井峠の会）

時代が動いても女性達は、様々な社会問題に囲まれています。その中で、県連の女性会員は山と向き合っています。いつまでも登り続けることができるようサポートできる活動を、今年度も取り組んでいきたいと思っています。女性部は他の専門部と違い自由に多岐に渡って活動ができます。その強みを活かした活動ができればと考えています。

また、女性部は女性だけを対象とするのではなく、男性の参加を歓迎します。どんどん参加して、新しい風を吹かせてください。女性部は今年度も元気よく活動をします。第1木曜日は県連事務所へ是非お越しください。

今後の労山に思うこと

財政部長 井川 まり子（ふわく山の会）

第51期より財政部長を引き受けることとなりましたふわく山の会の井川まり子です。理事になり2年目ですが何もわからず過ごした1年です。

会員数が減り財政が厳しく本気で考えないとけない時期に来ています。魅力ある活動・参加したくなる活動を広めていくことを目標としています。

待っているだけの時代は終わりました。生き活きた労山愛知の復活を願い皆さんの協力をお願いいたします。

新任のご挨拶

自然保護部 田中 恵（あつた勤労者山岳会）

昨年に引き続き第51期県連自然保護部長をさせていただきます、あつた勤労者山岳会に所属しています田中 恵です。一年間宜しくお願い致します。

遭対部 5/17 春山合宿遭対報告会議を開きました

2019年5月17日（金）19：30から、第51期春山合宿遭対報告会議を開き、7山岳会11名が出席しました。【出席者】小栗・洞井・森本（半田F）、水越・成田・小出（同志会）、望月（ふわく）、西尾（くらら）、樋江井（若駒）、松本（東三河）、横井（山歩会）。

当日提出された山行報告書は、5山岳会11件。後日、名古屋ありんこ山岳会から報告書がとどけられ計13件。悪天候などで山行中止した山岳会は2つ。連絡会以後提出された計画書は山歩会1件。

○合宿に取り組んだ各山岳会からの報告を受け、議論しました。問題点の指摘・反省・質問など主な点を掲載します。

- ・天候に恵まれ2泊3日の計画が、1泊2日に短縮された。
- ・山スキーの報告書で、「林道はシートラ」という記述があり、どういう意味かと質問があった。スキーを担いで移動することと回答があった。
- ・アイゼンが外れて、着脱に時間がかかりメンバーに迷惑かけた。帰宅してから冬靴と夏靴を取り違えていたことに気が付いた。
- ・ガスヘッドとカートリッジ（20年前に買ったもの）のパッキングの劣化で点火時に炎が上がった。カートリッジの相性もあるようだが（前日は問題なし）事前の点検が大事→Oリングの劣化が問題じゃないかと指摘があった。
- ・台高山脈の縦走で、3回、道迷いした。ルートファインディング、地図読みの学習になった。
- ・吹雪の中でのテント設営（6テン、4テン）に4本のスコップでは数が足りず、非常に厳しい設営となった。テント設営時に1名が低体温症となった（翌日回復）。設営にかかる前に防寒の指示をしたかと質問があった→指示していなかったと回答した。低体温症は、周りのメンバーが気づいてやらないと危ない。
- ・ビーコンを車の中に忘れた者がいた。
- ・ビーコンを借りてきたものの、使い方が分からない者がいた。

○ヒヤリハットとして

- ・発病者（一日目の夜発熱。悪寒に襲われる、二日目起床時、熱、のどの痛みを訴えた）が出たので、二日目で撤退した。
- ・履きなれた靴だったが、靴下の重ね履きで靴擦れになった。
- ・出発があわただしく、不要なものを持ってしまった。
- ・2名に高山病の症状が出た。
- ・下山時、階段の踏み外しで転倒した。

第51期春山合宿報告一覧

山岳会		山域	コース	日程	人数
名古屋ありんこ山岳会	A	北ア	一ノ沢～常念小屋テント場～常念岳～蝶ヶ岳～徳沢～上高地	5/3～5	5
	B	北ア	一ノ沢～常念小屋～常念岳～蝶ヶ岳～徳沢～上高地	5/3～5	10
名古屋山岳同志会	A	南ア	夜叉神峠～南御室小屋 往復	5/1～2	5
	B	南ア	歌宿～長衛小屋～小仙丈～仙丈ヶ岳～長衛小屋～仙水峠～甲斐駒ヶ岳～小松峰～長衛小屋～歌宿	5/2～4	3
	C	北ア	上高地～涸沢～奥穂高岳～涸沢岳～涸沢～上高地	4/27～29	10
名古屋山歩会		越後	大自然館跡～ヤマ沢尾根～浅草岳～早坂尾根～浅草山荘～保久礼登山口～守門大岳～保久礼小屋～登山口	4/27～30	3
半田ファミリー山の会	A	台高	高見峠～高見山～国見山～明神平～明神岳～池小屋山～野江股ノ頭～江馬小屋谷出合	4/27～29	9
	B	北ア	上高地～徳沢～横尾～蝶ヶ岳～徳沢～上高地	4/27～28	5
東三河山ぽ会	A	妙高	膳棚第一リフト～大毛無山～ロッテアライゾート～登山口～三田原山～登山口 山スキー	4/27～29	5
	B	四国	筏津～東赤石山～西赤石山～銅山峰～東平	4/28～30	5
	C	北ア	中房～合戦小屋～燕山荘～燕岳 往復	5/4～6	7
若駒山岳会	A	北ア	八方池山荘～八方池～唐松岳～大黒岳～白岳～五竜山荘～小遠見山～テレキャビンアルプス平駅	4/27～30	4
	B	北ア	八方池山荘～八方池～唐松岳 往復	4/27～29	3

7/12 夏山合宿遭対連絡会議を行います。

下記の通り、夏山合宿遭対連絡会議を行います。合宿を取り組む山岳会はリーダー（代理者）の出席を確保してください。その他の山岳会も遭対部長など山行管理者の出席を求めます。山岳情報の共有と、計画書を検討する中で危険予知など安心安全登山をどう進めるかを共に追求しましょう。

【日 時】2019年7月12日（金）19：30から

【場 所】県連事務所

【持参物】合宿を取り組む山岳会は、各コースごと30部の計画書を持参すること。

組織部 5/16（木） 第四回 組織担当者会議 報告

出席者：犬山マップ(井川)、春日井(弘中)、かわせみ(神谷)、同志会(吉川)、東三河(斉藤)、みどり(杉浦)、若駒(神谷)、7山岳会7名

1) 一般登山講座の準備



①講座の準備——5月18日(土)、6月8日(土)の打合せをしました。

②実技山行の準備 ——5月19日(日)御在所岳の打合せをしました。5月26日(日)代替山行

の鳩吹山はカタクリの里から周回ルートとしました。

③6月8日公開講座の各会ホームページへの掲載依頼——4山岳会で掲載されています。

④アンケートの書式検討——協議し、希望の講座を問う項目を追加することとし、18日(土)配布します。

⑤今期の反省と来期の進め方、——次回の担当者会議で議論します。

2) 会員拡大の取組み・対策——昨年会員を拡大している、減らしている会の集会等、見学予定。若駒山岳会、かわせみ——未定

ふわく山の会——ふわく自身の問題であるだけでなく、県連全体の問題でもあり、会員数の減少に対して、その原因と対策、今後の方策などについての報告を求めるようにする。

3) 平和行進、段取り——メインコースを繋ぐように、各会に参加を呼び掛けていきます。

4) 労山運動の理念についての討議資料の発行。——反応は?、質疑等は特になし。

あいち平和行進 (中間報告)

2019年6月7日

5月31日新所原の湖西公民館にて静岡県からの引き継ぎ集会が行われ、あいち平和行進スタートしました。静岡県労山からは焼津山の会の山崎さん、NMC(ナチュラルマウンテンクラブ)の海野さん、浜松労山の吉川さんから労山旗とノートを引き継ぎました。愛知労山からは東三河山ぼ会:丸地、県連教育部長:柿原(敬称略)、吉川事務局長の他、元ふわく山の会、県連組織部長を務められた吉田さんの計四名の参加でした。



主催者側より、2017年にはi c a n(核兵器廃絶国際キャンペーン)がノーベル平和賞を受賞する一方、米朝首脳会談は行われたもののこう着状態になっており、また2015年のイラン核合意からアメリカが離脱を表明するなど、核廃絶から後退する状況もあるが、国民的運動としての平和行進で核廃絶への道を前進させよう、との挨拶がありました。

2日には安城市役所からコープ安城よこやままで吉川事務局長が歩き、コープ安城の歓迎集会に参加しました。4日には常滑からのコースの常滑市役所での出発集会に、半田Fの森本副理事長が参加しました。

5日には瀬戸～守山コースに、くらら山の会の西尾理事他計2名が参加し、瀬戸市役所から尾張旭中央公民館を歩きました。昨年の瀬戸市議会での非核都市宣言を受け、瀬戸市役所前での出発集会に5名の市職員が参加しました。

7日には、佐藤理事長が②コース、宝公園～泉楽公園を雨の中濡れながら、沿道の民家からの

励ましを受け、行進に参加しました。

労山と平和行進

県連では5月31日～6月11日まであいち平和行進に取り組んできました。6月6日までの集計で3山岳会、延4名の会員が参加されました。改めて労山と平和行進の歴史を振り返っておきます。

「登山と平和」の問題が労山のなかで初めて大きく論議されたのは、1980年代に入ってからでした。1982年1月に開かれた第15回全国総会では、採択された「総会宣言」に初めて「平和な社会でこそスポーツ・文化の発展が保障される」の文言が取り入れられました。

1984年10月埼玉県で開催された第9回全国登山研究集会では、テーマに「文化としての登山と登山者教育」「登山と平和問題」の二つが掲げられ、記念講演は深野一郎・全国連盟副会長が「新しい登山運動と平和運動」と題して実施しました。1985年全国代表者会議では「登山と平和」の問題が活発に論議されました。兵庫県連では、1985年7月初めて県連として「平和行進」に参加し、県内で労山旗をリレーしました。

平和行進への参加は、翌1986年から労山内で全国的に取り組まれました。

(ROUSAN ニュース第36号2018年7月10日より発行より抜粋)

愛知県連では、連盟規約に「平和で豊かな社会を追求する。」ことを掲げ、1986年6月以来、平和行進に取り組み労山旗を県内で引き継いできました。

(県連盟60年のあゆみ、参照)

女性部 女性部便り

今年の交流山行は「つなげよう富士山」です。

北口本宮富士吉田浅間神社から、江戸時代、信仰としてさかんに富士登山がおこなわれていた古の道を1合目から5合目まで歩きます。また、富士登山に欠かせなかった御師の家に宿泊します。御師とは、宿舎の提供だけでなく、教義の指導や祈祷、各種取次業務を行うなど、富士信仰の全般に亘って世話をする存在でした。実際に講社を迎えて御師としての活動をしている家は現在わずか2件です。

詳細につきましては、チラシ、県連ホームページでお知らせいたします。

日時：9月21日（土）～22日（日）

場所 県連事務所

会費 約20,000円

定員 27名

理事会報告 理事の補充について

愛知県連盟規約第8条に基づき、第2回理事会(3月28日)、第5回理事会(5月9日)にて下記のように理事の補充を承認されましたので報告します。

A S C：安江さん、 かわせみ山楽会：佐伯さん

一般向け登山講座 公開講座等 報告



6月8日(土)一般登山講座は最終日、長く登山を続けるために——トレーニングの方法と、登山の楽しさ——山の自然に親しむ、県連加盟山岳会の紹介を行いました。山の自然に親しむは、名大の竹内教授に「登山と地質：足下の石を見て、大地の鼓動を感じよう」と題して講演いただきました。山の自然に親しむ講座は一般公開講座として行い、参加者は12山岳会42名(スタッフ含む)、内一般からの参加は1名で、一般講座受講生12名、合計54名でした。

講演では用意していただいた資料とパワーポイントを使用し、第1部では岩石の種類と出き方、地質調査の方法と用具、地質情報を得る方法、第2部ではプレートの運動と山の形成、プレートの動きとマグマの発生と火山、槍・穂高連峰の地質と傾動、立山・白山付近の地質分布、断層と褶曲と山脈形成の関係、などを分かり易く説明していただきました。また会場からの質問にも丁寧に答えていただき好評でした。

アンケート集計は途中ですが、好演は概ね好評で、今後の希望テーマでは高山植物や樹木が多くなっていましたので、来期に向けて検討していきます。

トレーニングの方法、はありんこ山岳会の榎原氏でパワーポイントを準備し、山筋ゴーゴー体操DVDを使用し練習もしました。

講座の最後には各会のホームページを映し出し、出席者から会の紹介・入会呼びかけとその他の会はホームページでそれぞれの会の紹介を行い、第51期一般登山講座の日程を終了しました。

講座全般を通して課題等も見つかりましたので、組織担当者会議等で検討していきます。スタッフ、実技のリーダーなどを派遣していただいた会の皆様、ありがとうございました。

(記：組織部長 吉川)

救命救急法講習会のお知らせ

・6月22日(土)9:30～県連事務所、森会長その他で講師担当。内容は夏季に発生しやすい傷病の手当について解説した後、三角巾、テーピングの実技、最後にシナリオに沿ってロールプレイを何回かやる予定です。参加費@1000円。

申込は、参加者名を各会の理事または県連事務所へFaxしてください。

【編集後記】梅雨入りしました。雨の山行で濡れてしまった装備がいつまでも乾かないのには閉口しますが、梅雨の山には梅雨の山の美しさがありますよね。山里では蛍も飛び始めました。梅雨を楽しみましょう！(事務局 井土)

Schedule 2019

7月			8月			9月		
1	月	登山学校理論⑭	1	木		1	日	
2	火		2	金		2	月	
3	水		3	土		3	火	
4	木	女性のつどい⑤	4	日		4	水	教育担当者会議⑥
5	金		5	月		5	木	女性のつどい⑥
6	土	登山学校実技 C8 理事会⑧	6	火		6	金	
7	日		7	水		7	土	登山学校実技 C10
8	月		8	木		8	日	
9	火		9	金		9	月	
10	水		10	土	第4回山の日記念全国集会	10	火	組織担当者会議⑥
11	木		11	日	第4回山の日記念全国集会	11	水	
12	金	夏山合宿遭対連絡会議	12	月		12	木	理事会⑪
13	土		13	火		13	金	遭対担当者会議③
14	日		14	水		14	土	
15	月		15	木		15	日	
16	火		16	金		16	月	
17	水		17	土		17	火	
18	木	教育担当者会議⑤ 自然保護部会③	18	日	登山学校実技 C9	18	水	自然保護部会⑤
19	金		19	月		19	木	理事会⑫
20	土		20	火		20	金	
21	日		21	水		21	土	
22	月		22	木	自然保護部会④	22	日	
23	火		23	金		23	月	
24	水		24	土		24	火	
25	木	理事会⑨	25	日		25	水	
26	金		26	月		26	木	代表者会議準備
27	土		27	火		27	金	
28	日		28	水		28	土	全国ハイキング学校
29	月		29	木		29	日	各会代表者会議
30	火		30	金	夏山合宿遭対報告会議	30	月	
31	水		31	土	理事会⑩			

ご意見、ご要望・投稿などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

<http://aichirousan.web.fc2.com/> e-mail:aichirousan@gmail.com